

(公表用)

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」(平成30年度採択)

事後評価結果

番号	研究名	研究代表者	評価
30-7	養生技術・混和材料を活用した各地域のコンクリート構造物の品質・耐久性確保システムについての研究開発	横浜国立大学 教授 細田 暁	B
<p><研究の概要> ※成果報告レポートより引用</p> <p>我が国の多様な環境条件で、各地域の骨材等の材料事情に適応して、コンクリート構造物の品質・耐久性確保を実現するため、行政の品質・耐久性確保システムを構築・改善することを研究目的として、養生技術や混和材料を活用したシステムの要素技術の開発を実施する。</p> <p><事後評価結果></p> <p>地域の条件に応じた「標準養生方法」、「混和剤」が提案され、研究期間中から成果が一部の地方整備局において手引きなどの発注資料にも反映されており、実用性が高い。一方、手引きなどへの反映が一部の機関に留まったものとなっており、全国で活用できる成果へと展開することが望まれる。このことから、研究目的は概ね達成され、研究成果があったと評価する。</p> <p><参考意見></p> <ol style="list-style-type: none">1. 研究機関が多いために体系的な整理が困難なことは理解できる。一方、例えば機械学習の成果と実験成果の比較分析、機械学習の読み解きなど実用的成果を裏付ける検討も期待したい。2. 本研究は、地域特性を考慮したコンクリート構造物の品質・耐久性を確保するための方法とシステムを確立し、発注者側の手引き等を実装するための取り組みを実施した研究として評価できる。今後、さらなる品質の確保・向上に関する効果検証に期待する。3. 品質の向上効果の検証等、今後の更なる取り組みが期待される。			

※本事後評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第43回新道路技術会議において審議したものである。